

現場からの声

こよういちごう・こよういちごうとなり

【小用1号・小用1号隣:川尻町小用】
災害関連緊急砂防事業

現場の特徴・問題点など



当現場は、甚大な災害が発生した川尻町において2溪流の合流点にあたり、人家も近く、1日も早い本堤完成が望まれた。しかし、現道から現場までのアクセス道はなく、工事用道路設置からのスタートであった。また、狭小な施工現場での作業となり、現場は海からも近く、濁水流出にも注意を払いながらの施工が必要であった。

工夫など



- 掘削直後から、中硬岩が全面に出たため、『油圧割岩機ビッガー工法』を採用し、岩盤掘削の施工効率を向上。
- 濁水流出対策として、海上に汚濁防止膜を設置。
- 現場施工ヤードが狭小なため、えん堤材料となる砂防ソイルセメントの混合槽を現場外に設け、ダンプトラックの台数を確保することで、遅延なく運搬し、施工効率を向上。

今後の抱負

地域とのコミュニケーションを図りながら、今後予定されている工事も含め、地域全体として1日でも早く安心・安全な暮らしが取り戻せるよう、工事の早期完成を目指してまいります。

【現場からの声】 稲田産業有限会社 保田さん (主任技術者)